

「那覇市水道事業経営戦略」に係るパブリックコメントの実施結果について

- (1) 意見提出者 3名（電子メール3名）
- (2) 意見件数
那覇市水道事業経営戦略 …… 7件（3名）
- (3) 提出された意見の内容及び意見に対する考え方

◎那覇市水道事業経営戦略

	該当ページ	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方
1	P31、P37	<p>水道料金県内11市比較において低い金額となっている。経営基盤の強化や強靱な水道事業を継続していくために水道料金の検討を行ってほしい。</p> <p>人口減少と施設老朽化への対応として、経営健全化を目指していますが、施策目標の「安心」「強靱」性を保つために、今後利用料金の値上げは検討されているのでしょうか。</p>	<p>計画期間においては、健全な事業運営が可能である見通しとなっており、現行料金を維持していきたいと考えておりますが、経営環境の変化に対応しつつ必要な料金水準の検討を行いたいと考えております。</p>
2	P34	<p>衛生管理向上のための直結給水転換促進に当たって、このデメリットである、事故や災害時等に貯留機能がないため断水することに対して、耐震化・復旧迅速化などのほかに、対策していることはありますか。</p>	<p>事故や災害等による断水の対応として、上下水道局では「危機管理計画」を策定しており、管路復旧班の他、応急給水班等のチーム体制を構築し迅速な対応が実施できる体制を整え、年1回以上の防災訓練を実施しております。</p>

	該当ページ	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方
3	P34	<p>衛生管理向上のための直結給水転換促進に当たって、那覇市上下水道局のHPで該当ページを拝見しましたが、もっと分かりやすくメリット・デメリットなどの概要が紹介されているといいなと思います。</p>	<p>直結給水方式のメリット・デメリット</p> <p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接水道水をお届けできるため、より新鮮（衛生的）な水をお使いいただけます。 ・貯水槽（受水槽）が不要となるため設置スペースを有効活用できます。 ・貯水槽（受水槽）の清掃、点検など維持管理が不要になります。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断水した場合、水道水が使用できなくなります。 <p>以上、上下水道局HPへの掲載いたします。</p>
4	P35	<p>日本水道協会によると、配水池の清掃は3～5年に1回が相応しいことであったため、年に2箇所の清掃であれば安心して水道水を利用できる。</p>	<p>市内の配水池7箇所においては、年1箇所の清掃を予定しております。</p> <p>また、水質検査を毎日(365日)実施することにより、安全に安心して利用できる水道水の供給に努めております。</p>
5	P37(P11)	<p>水道料金以外の収入は図3-5-2のその他収益に当たるとは思いますが、具体的にどれくらいの割合を占めており、経営戦略に掲げるほどの要素としての見込みがあるのですか。</p>	<p>「その他収益」のうち、資産の有効活用(料金以外の収入の確保)にかかる土地物件収益及び債券購入による受取利息は、収益的収入の約2%程ですが、人口減少により給水収益の増加が期待できない状況において、現在保有している資産（土地・建物）を有効活用し、料金収入以外の収入の確保に努めることも重要な要素と考えております。</p>

	該当ページ	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方
6	P39	<p>利用者ニーズの把握と情報の発信について、利用者アンケートは、どのような方法で実施されているのでしょうか。HPに見当たらなかったのに、インターネットから気軽にアンケートに回答できる環境の設置があるといいなと思います。</p>	<p>アンケート調査につきましては、3年に一度実施しており、市内一円から無作為に抽出した世帯へ調査票を送り、調査にご協力いただいております。</p>
7	P34~P39	<p>H30年度中核都市平均値と比較してR12年度の業務指数(PI)が上回る目標値は評価できるが、類似団体もR12年度になれば数値が上昇している可能性があるため、さらなる施策目標の達成に向け計画的に推進してください。</p>	<p>類似団体の業務指標(PI)も常に確認しながら、計画中間年には必要に応じPDCAサイクルによる見直しを行うなど、経営戦略の充実を図りたいと考えております。</p>